日本現代作法会会報
第49号
SAHŌDŌ
令和5年8月1日　編集・発行 / 日本現代作法会

日本現代作法会
〒530-0047　大阪府大阪市北区西天満
4丁目11番8号301号
TEL　06-4709-4058　/　FAX　06-6314-6931
URL:https://sahoukai.com　E-mail:info@sahoukai.com

CONTENTS

P1　総会報告
P2　寒川会長連載 他
P3　篠田宗家連載
P4.5　講師だより 他
P6.7　認定教室案内 他
P8　認定教室案内

令和五年度
日本現代作法会　総会報告

令和五年七月二日日曜日、大阪市立阿倍野市民学習センターにおいて日本現代作法会 令和五年度総会ならびに第二部行事が開催されました。

第一部は、開業者研鑽会ならびに日本現代作法会総会が開かれました。令和四年度事業・会計報告ならびに五年度事業・会計案について、開業者研鑽、日本現代作法会ともに承認を得て、新体制がスタートしました。

第二部行事「マナーソニック二〇二三《学び活かせるマナーの集い》」には、会員・一般出席者、計二十四名が集いました。石川富恵講師の司会による開会、寒川由美子会長の挨拶の後、当会理念、生徒代表五名のリードによる現代作法道十訓を、全員で力強く唱和いたしました。

続いて厳かな雰囲気の中、許状資格授与式が執り行われ、山本美和子さんが、初修修了・中修・助手の許状資格を取得されました。さらに、着付け教室マナーインストラクター・医療介護福祉マナーアドバイザー・開業認定式、永年在籍賞・功労賞表彰を行いました。それぞれの皆様方には、「おめでとうございます」のお祝いの言葉をお送りいたします。

その後、講師による「チームリレーマナーワークショップ」がスタートしました。「袱紗の扱い」「懐紙の折り方」「弔事のマナー」「日傘の美しい扱い」の四テーマで、参加型の体験学習を行っていただきました。「袱紗の扱い」は台付き袱紗の扱いを中心に、講師陣のサポートの下で習得いただき、「懐紙の折り方」は、懐紙の折り方、残菓包み等を体験いただきました。「弔事のマナー」は、数珠と榊の扱いを学んでいただき、「日傘の美しい扱い」は、和傘の扱い方と「江戸しぐさ」を講師が演じながらお伝えしました。それらの光景および講師の所作は華やかで美しく、日本の伝統や文化のすばらしさを再確認いたしました。

次は、お待ちかねの会長講演です。演題は「美しいきものの着こなし方」。皇室の方々のお着物姿を取り上げてお話しくださり、一同納得しながら受講いたしました。

第二部行事については手前味噌ながら、参加の皆様に「また参加したい」と感じていただけたのではないかと考えております。

最後は会歌斉唱です。会歌「この国に生まれてよかった　この国に生きてよかった…」の歌詞をかみしめつつ、心を込めて斉唱いたしました。そして、実行委員長・桑野友恵講師による閉会挨拶で締めくくりました。なお、篠田宗家より、冷たいお茶の差し入れを頂戴しました。ありがたく、美味しくいただきました。

お名残り惜しいですが、また新年互礼会でお目にかかりたく存じます。皆々様との再会を心待ちにいたしております。














山本 美和子

奮励努力



日本現代作法会
会長
寒川　由美子

会員の皆様におかれましては、平素より当会に温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

「三月四日 現代作法の日」登録記念の第一回イベントが全国十三か所にて開催されました。全力で取り組み、マスコミにも取り上げられてイベント開催ができたことは、ひとえに会員の皆様方ならびに開業講師のご尽力・ご協力の賜物と、大変誇らしくうれしく存じます。当会「現代作法」が、全国に広まるとともに、歴史に残る実績となりました。

第二回「現代作法の日」記念日には、当会のさらなる飛躍発展のため、以下三点の事業実施を計画いたしております。

一　第二回「三月四日 現代作法の日」記念日に係る全国イベント

二　「身近なマナー川柳コンテスト」開催

三　現代作法を取り入れた企業、団体、教育機関への表彰、または認定証の贈呈

これらの事業には、「現代作法」を全国に普及するためのさまざまな効果が期待できます。第二回「現代作法の日」には、さらに多くの会員の皆様、関係者の皆様方にもご参加いただき、当会をいっそう盛り立ててくださいますように心から願っております。

今後、詳細が決定しましたらホームページにて発表いたします。ぜひご覧くださいませ。今後も引き続き、講師一同、全国から世界に広がる日本現代作法会を目指してまいる所存です。

さて、私が数年にわたり講師を務めております「赤穂高齢者大学 マナー講座」において、今年度は一休禅師「気は長く 心は丸く 腹立てず 人は大きく 己は小さく」…この言葉をキーワードとしてお伝えしています。

素敵な齢の重ね方は、我を小さくして執着を捨てること。そうすることで、身も心も軽くなります。些細なことは気にせず、大いに笑い飛ばしていただきたいともお話ししました。最高齢受講者、九十五歳の女性が大きくうなずき、熱心にメモを取ってくださっています。そのお姿に敬服いたしました。

高齢者大学では「次世代につなげたいマナーアラカルト」と題し、現代マナーについてわかりやすく解説しています。そのいくつかを挙げます。

冠の祝いの晴れ着や節句飾りなどについては、お嫁さんの実家側が用意する地域と嫁ぎ先が用意する地域とがあります。そのような場合は、嫁ぎ先へ尋ねることが大切です。

婚の祝いの結婚披露宴で、中高年の女性に黒色の洋服をお召しになる方が多くいらっしゃいます。しかし、女性の洋服の黒は喪の色です。白以外の明るいお色をお召しくださいませ。

通夜葬儀です。現代は家族葬が主流となってきています。家族葬は、一般の方が弔問できない場合が多くありますが、家族親族の葬祭の前に一般焼香を設け、ご遺族はこれまでお世話になった方々に感謝とお礼を伝え、故人の人生の締めくくりをきちんとして差し上げることをお勧めいたします。

現代はおつきあいが希薄になり、意味の分からぬまま、さまざまにおつきあいを省略することが多くなっています。そのことで礼を尽くすことができず、先様への失礼も多々ございます。次世代孫世代へ、大切な礼を尽くす「気働き」についてぜひお伝えいただきたいと願っております。

今年度も現代マナーについて、ご一緒に研鑽してまいりましょう。



テレビ・ラジオ出演

総師範　村山紀子

3月3日(金)
RCC中国放送ラジオ「おひるーな」
3月3日(金)
東広島FM「KAERINSAI」
3月13日(月)
広島FM「俊山真美のGOOD JOG」
3月24日(金)
広島ホームテレビ「セトチャレ!」
3月31日(金)
広島ホームテレビ「セトチャレ!」

師範　本田洋子

7月8日(土)
ラジオ関西
「おげんきですか春名裕富子です」

「篠田」の印鑑のかけらでもあれば、全て会長の責任でっせ！

～日本現代作法会専務 河野（こうの）幸明（こうめい）氏に寄せてその一～



現代作法道　宗家
現代マナー研究家
篠田　弥寿子

天候不順の暑さと不穏な世界情勢・国内世情の日々ですが、会員各位にはご健勝にてご活躍のことと存じます。

「三月四日 現代作法の日」記念行事が各支部において開催、マスコミにも取り上げられた成功裏のスタートに心からお祝い申し上げます。これまで日本現代作法会をご支援くださった多くの方々のお力添え、寒川会長はじめ講師各位・会員皆様方のご尽力、ご協力のお蔭と、改めて篤くお礼申し上げます。

さて今回は、日本現代作法会を創立時から陰で支え、篠田弥寿子に組織学とリーダー学をご教示くださった「日本現代作法会専務 河野幸明 氏」の思い出話です。



昭和五十年春、西宮市の自宅玄関に男性のガラガラ声の挨拶が響きました。「河野です。今日からよろしくお願いいします！」何と「篠田弥寿子着物着付け・作法教室」入会希望でした。

発端は、着付けの恩師、菅原偕子先生の着付け発表会でした。交換した名刺には「和装振興協会専務理事 河野幸明」とありました。当時の私の名刺は「着物着付け・作法教室 主宰 篠田弥寿子」でした。当日、菅原恩師の希望で、アトラクションとして全日本作法会で学んだ「履物の扱い」「座礼の仕方」を披露しました。早速に「篠田さん、現代作法はどこで学べますか。すぐにでも勉強したいのですが…」と、河野氏の質問攻めに遭いました。「私の教室で着付けのお稽古の後に三～四十分間、毎回教えています」と答えました。「では、来週から伺います！」言葉通りに翌週の稽古開始三十分前に訪問されたのです。

その後も毎週一番早くにいらして、先輩方へのお茶の準備を毎回担当されました。着付け時間は、「男物の角帯の締め方」「袴の着付け方・畳み方」を勉強し、その後の作法の時間は、「和室の席入り」「床の間拝見」「座礼の仕方」「ふすまや引き戸の作法」等を、自宅和室や玄関等を使用して指導しました。河野氏は女性生徒方に交じり、実技も最も熱心でした。実技中心の指導でしたので、直ちに役立つ実用作法として受講者に喜んでいただきつつ、私にとっては貴重な自己研鑽の時間でもありました。

「篠田先生の独自の作法（マナー）の会を確立し、洋式の作法やビジネスマナーも取り入れて日本中に普及させんといけませんな。これからは作法が必ず必要とされる時代になりますで！躾や茶道と違う『現代の作法』が必要ですわ。それを指導普及させるのが、篠田弥寿子の日本現代作法会です！」河野専務の大阪弁の、その時の声が今も聞こえてくるようです。

昭和五十六年一月、全日本作法会・会長の内田宗輝先生に十二年間学ばせていただいたお礼と共に退会しました。同年五月、河野氏の補佐と助言を得て「新しい作法の創立」を目指し、日本現代作法会を創立しました。「現代作法（現代マナー）」という言葉を使ったのは、篠田弥寿子が日本で初めてでした。

会が始動し、河野専務からヨチヨチ歩きの会長・篠田弥寿子への最初の助言が、巻頭の言葉でした。以下五点を「会長としての基本心得」として教示されました。

一　印鑑を押した書類・資料はすべて会長の責任と心得ること

二　全日本作法会の資料、内田宗輝会長の資料やテキストは決して使用しない、内田会長の著作権を侵さないこと

三　日本現代作法会は篠田弥寿子の著作で新しい作法テキストを作成し、著作権を確立すること

四　日本現代作法会が一丸となれる精神の支柱「理念」を創立すること

五　日本現代作法会は、組織の三柱「人・物・金」の中で、「人」を最重要・最優先して組織化すること

同年五月十六日、宝塚ホテルにて創立発会式を祝い、新大阪の新築の高橋ビル七階に教室を構えてスタート。篠田弥寿子の現代作法を確立・普及させたいとの夢は、河野氏の補佐と助言や後押しがなければ決して実現していませんでした。

「人生において三人の恩師に出会う」と言われます。有難くも、私も大恩人三名にお会いすることができました。

作法の恩師は全日本作法会 会長 内田宗輝 先生、人生の恩師は高野山宿老 大阿闍梨 池口恵観 大僧正、そして日本現代作法会の立役者である河野幸明氏。三人の素晴らしい方々に出会い、ご教示をいただくことができました。中でも日本現代作法会の大黒柱であった河野幸明専務との出会いが、私の人生を大きく変えました。河野氏は昭和十年一月一日生まれ、平成二十五年六月六日逝去、七十九歳でした。

次回は氏の人間性の素晴らしさと個性豊かな発想力、独特の人生観に彩られた逸話をお話いたしましょう。

開業者研鑽会より

新開業講師ご挨拶



京滋支部

師範　濵田　育恵

寒川由美子会長をはじめとする諸先生方のご指導の下、この度、日本現代作法会の開業資格を拝受しましたことに対して厚く御礼申し上げます。

寒川会長には、入会時より丁寧に優しくご教授いただきました。さらには開業講師の道へとお導きくださいましたことに深く感謝申し上げます。

世の中も落ち着き始め、ようやく日常生活が戻ってまいりました。コロナ禍の中で、人々の生活様式や価値観・考え方等において変化した部分も様々にあります。しかしながら、「マナーとは、相手を思う気働き」については、どのような時代・社会においても変わることなく大切にしたいもの、と私は考えております。

今後は、相手を思いやる心を忘れずに、ご指導いただいたこと、学び・身に着けたことを伝え広めてゆきたく存じます。「日本の伝統的なしきたりと現代マナーは大切なもの」と多くの方々にお考えいただけるように努力してまいります。さらには、「この講師から学びたい！」と幅広い年代層の皆様が思ってくださるような、知識と経験、人間力を兼ね備えた講師をめざし、これからも日々精進してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

着付け教室マナーインストラクター誕生



北陸支部

深浦　米子

昨年、「着付け教室マナーインストラクター通信講座」のご案内をいただき、綺麗なお辞儀の仕方を学びたいとの思いから、講座申込みをいたしました。

通信講座の課題に取り組んでいくうちに、改めてマナーの奥深さに気付かされ、相手に対する思いやりを、どのように言葉で伝え、表現すればよいか悩みました。

課外授業「食事のマナー」では、緊張している私に、寒川会長はにこやかな笑顔でお教えくださいました。食後に散策した神社の境内にある美しい花手水に癒され、楽しいひと時を味わいました。

今回、このような機会を設けていただき、ありがとうございました。寒川会長の丁寧なご指導に、感謝申し上げます。

日本現代作法会で学んだお作法を日常より実践し、そして、着付け教室において伝えていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

伝統文化こども作法教室に参加して



関西学院初等部二年（当時）

中山　澪

マナーやうつくしいしぐさについてしれて、たのしかったです。おじぎのしかた、すわりかた、食器のならべかた、物のわたしかたなどいろいろな作法がたのしくまなべました。とくにおじぎのレッスンでは、「あさい礼」「中間の礼」「ふかい礼」と、いろいろな種類のおじぎをまなべて、ためになりました。また、お茶のおけいこでは、じっさいにお茶をのんだり、お茶菓子を食べたりできて、うれしかったのと、私は、もともとお茶が大好きなので、うれしかったです。

お母さんに、「いまやっていることは全部将来やくにたつよ」と、言われました。大人になるのが、とってもたのしみです。



「京都迎賓館と京料理への誘い」行事
～本物に触れる大切さ～



行事部　奈良支部
師範　清須　麻見

延期となっていた日本現代作法会行事が、四月十六日、春のよい時期に満を持しての開催となりました。秋にお申し込みくださり、今回ご参加いただけなかった皆様、大変申し訳ございませんでした。ご参加の皆様方には、厚く御礼申し上げます。

まず、平等院を創建した藤原頼道邸跡地にある「京料理　かじ」で、寒川会長から「和食マナー」のご指南をいただきつつ京料理を堪能いたしました。国賓をもてなす京都迎賓館では、建物、調度品、お庭などから、日本を代表する匠の技に賞嘆し、日本の美と技の粋に感動いたしました。

昨秋、当地の造成やお庭の監修に携わられた造園学者・尼崎博正先生のお話を伺う機会がありました。こちらは歴史ある、公家邸宅が建ち並んでいた所だそうです。遺跡もあり、掘り返した土は全て城陽に運んで石と土にふるい分けて、土で遺跡を覆って保存してその上に迎賓館を建設、石はお庭に使用したとのこと。先生曰く、雨の日の庭がとても良い…と。幸運にも室内にいた折に雨が降り、しっぽり濡れた新緑のお庭の拝見が叶いました。見えない随所に心配りがなされていて、それが人に感動を与えるのですね。日本文化がいかに奥深いものなのかを実感する良い会でございました。ご協力いただきました先生方、本当にありがとうございました。

和食のマナー講座と京都迎賓館見学に参加して





和歌山支部・古川教室
山本　美和子

延期となっていた行事を心待ちに過ごしつつ四月十六日を迎えました。

「京料理かじ」では料理をいただきながら、お椀やお箸等の扱いや日本食文化についてご指導いただきました。勉強になることばかりでした。会長の「ご馳走様」のお話が特に印象に残っています。「ご馳走様」は、必要な食材や食器等、準備する全ての物のために走り回ってくれた方々への感謝の言葉と伺いました。お客をもてなすために駆けまわる…それが客人へのご馳走だそうです。だから「おもてなし」には「裏がない」…と教えていただきました。料理に関わった方々への感謝の念が込められている、そう考えると感慨深い思いです。マナーの学習は、立ち居振る舞いの勉強にとどまらず、心のあり方についても学ぶことだと、改めて実感しました。

京都迎賓館では、ガイド説明を聞かないとわからない配慮が随所に施されていることを知りました。ここでも「おもてなし」とは「裏がない」ことだと感じ、温かい気持ちになりました。

何事においても感謝の気持ちを忘れることなく、作法を学び続けたいと考えております。充実した時間を本当にありがとうございました。

「身近なマナー川柳」コンテスト開催

日本現代作法会では「現代作法の日」登録記念事業の一環として、川柳コンテストを開催いたします。

テーマは「身近なマナー」です。日常にあるマナー、ほっこりしたことや失敗談などを、五七五のリズムにのせてご応募ください。

川柳を通してマナーや作法について改めてお考えいただくことで、「相手を思う気働き」のマナー（現代作法）が全国に広がることを願っております。

募集要項等の詳細については、ホームページにて公開しております。入賞作品と入賞者は、令和六年三月四日「現代作法の日」当日にホームページ上にて発表いたします。

皆様の「身近なマナー川柳」作品をお待ちしております。



日本現代作法会HP

案内 □…カルチャー教室&子供教室

2023年3月4日　第1回「現代作法の日」

全国11支部、13ヶ所にてマナーイベントを開催しました。

ご参加いただきました皆様、事前告知や当日取材をいただきましたマスコミ関係各社の皆様、
お力添えをいただきました皆様に心より厚く御礼申し上げます。


奈良支部


兵庫支部


四国支部


関東支部（神奈川会場）


和歌山支部


京滋支部


東海支部



大阪支部


中国支部


関東支部（静岡会場）

＊各支部の開催報告はHPにて順次公開中

講師紹介

宗　家	篠田 弥寿子	総師範	山城 ヒロ子	師　範	金森 祥子
会　長	寒川 由美子	総師範	桑野 友恵	師　範	山田 洋子
正教授	稲田 和子	総師範	古川 眞澄	師　範	田邉 和花
助教授	米盛 美代子	総師範	水本 有紀	師　範	外村 美智子
助教授	岩田 良子	総師範	濵崎 なほ子	師　範	黒川 久美子
助教授	相良 まゆみ	正師範	川村 和美	師　範	清須 麻見
総師範	山原 昌娃	正師範	川端 和子	師　範	本田 洋子
総師範	日高 美知子	正師範	細谷 さえ子	師　範	寺崎 のり子
総師範	増井 敬子	正師範	佐藤 淳子	師　範	森 弘子
総師範	村山 紀子	正師範	山田 比佐代	師　範	濵田 育恵
総師範	井上 美	正師範	石川 冨恵		

会報49号協賛金名簿

開業者研鑽会
日本マナーサービス株式会社
宗家　篠田 弥寿子
会長　寒川 由美子
正教授　稲田 和子
助教授　米盛 美代子
助教授　岩田 良子
助教授　相良 まゆみ
総師範　山原 昌娃
総師範　日高 美知子
総師範　増井 敬子
総師範　村山 紀子
総師範　井上 美
総師範　桑野 友恵
総師範　古川 眞澄
総師範　水本 有紀
総師範　濵崎 なほ子
正師範　川村 和美
正師範　川端 和子
正師範　細谷 さえ子
正師範　佐藤 淳子
正師範　山田 比佐代
正師範　石川 冨恵
師範　金森 祥子
師範　山田 洋子
師範　田邉 和花
師範　外村 美智子
師範　黒川 久美子
師範　清須 麻見
師範　本田 洋子
師範　寺崎 のり子
師範　森 弘子
師範　濵田 育恵

お便り募集

「SAHODO」へのご要望はもちろん、日本現代作法会のセミナーや行事、研修や授業で感じた事、テレビや書籍の感想など、作法やマナーに関する事なら何でも結構です。お便りをお寄せください。

日本現代作法会事務局　前川